



藤野和美議員

答 条例でつくる教訓会に議論を任せると

これからは分散の時代。
小規模校こそが大事

移住促進の取り組みは

コロナ禍において、地方移住傾向が強まっている。町の取り組みは。

コロナ禍において、企業誘致、新規就農者支援などに取り組んでいく。

学校再編は

地域支援課長子育て支援の拡充や企業誘致、新規就農者支援などに取り組んでいく。



渋谷登美子議員

トイレの整備計画の策定を

全部の和式トイレに手すりをつけて順番に洋式化を

高齢になって、公共施設等のトイレが和式で手すりがないと、立てなくなることがある。町が管理している公共施設トイレ、公衆トイレ、学校トイレ、そのうち和式トイレ、洋式トイレ、手すりのあるトイレ、どちらでも利用できるトイレの数は。

総務課長 公共施設では13施設に143基、公衆トイレ16力所に61基、学校は5校に302基。そのうち障害者用トイレは24ヶ所で30基、手すりが

ある洋式トイレは9カ所で48基、ぐなたでも使用できるトイレは26カ所で34基。

和式トイレで手すりのないトイレは。総務課長 把握していない。

公衆トイレ等は災害時・緊急時に使用可能な整備が必要だが。地域支援課長 災害時は水を必要とするため、通常の便器にセットしない非常用トイレ袋して使用するもの8200枚、組み立て式トイレ4400枚、合計1万2600枚。避難者2600人1日分程度を備蓄している。

早く洋式化にしてほしい菅谷小トイレ=R3.3.26
高齢者も利用する総合運動センター外トイレ=R3.3.26



早く洋式化にしてほしい菅谷小トイレ=R3.3.26



高齢者も利用する総合運動センター外トイレ=R3.3.26

も小規模校の評価が変わっている。それについてどう考えるか。

論前の発言は差し控える。

学校再編をしないで、オンライン共同事業などで学習効果を上げる考えは。

町長 委員会に議論を任せせる。

中教審答申の中でも、小規模校のデメリットを最小化するために、オンライン共同事業の可能性についても地域特性を生かしながら、他校と交流することで大きな可能性が生まれてくる。すすめられた。中教審のなかでは。

町長 条例でつくる委員会に議論を任せせる。

コロナ禍で保護者の意識も変わってきた。中教審のなかでは。小規模校への考えは。町長 社会変化は、今回の主眼は手続き上の問題である。コロナ禍を経て、小規模校への考えは。

中教審答申のなかで、小規模校のデメリットを最小化するために、オンライン共同事業の可能性についても地域特性を生かしながら、他校と交流することで大きな可能性が生まれてくる。すすめられた。中教審のなかでは。

教育委員会事務局長 活用方法を色々考えていく。
国民健康保険について

増額されることはない。税務課長 増額の予定はない。

教育委員会事務局長 コーディネーターが配置できていない。人選を最優先課題としてすすめる。



春を迎えた七郷小学校=R3.4.1

ボランティアセンターについて

ボランティアセンターの現状は。

ボランティアセンターの現状は。